The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	特集「大学におけるeラーニングプラットフォーム：システムの概要、将来展望と導入例」
Author(s)	中澤, 篤志
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2008, 9, p. 3-3
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/70259
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

特集

特集：大学におけるe ラーニングプラットフォーム
～システムの概要、将来展望と導入例～

サイバーメディアセンター　情報メディア教育研究部門　中澤 篤志

e ラーニングプラットフォームは情報技術を用いて学習を支援する仕組みであり、インターネット等の通信回線、Web ブラウザ等のインタフェースを用いて学生をサポートすることで大学教育におけるよりよい授業を実現でき、また教員においては効率的な授業遂行を行えるという点で有益で、近年急速に普及が進んでいます。サイバーメディアセンターにおいても2004 年より、教育機関、企業等において世界的に広く普及しているe ラーニングプラットフォームWebCT の導入を開始し、現状では大阪大学で開講されている全ての講義、教員、学生が登録され広く使われる状況になっており、大学教育における不可欠なインフラの１つとなりつつあります。

本特集では本学における以上のような状況をふまえ、e ラーニングシステムの今後の更なる利活用方法を探るために、本分野において先進的な試みを行っておられる執筆者の方々に寄稿をお願いしました。

まず本学サイバーメディアセンター竹村治雄氏から、大阪大学におけるWebCT の現状と概要、将来展望を紹介していただきます。

名古屋大学情報連携基盤センター梶田将司氏からは、大学教育をターゲットに開発された様々なe ラーニングシステムの紹介、特に世界中の大学からなるコンソーシアムによってオープンシステムとして開発されているコース管理システム「Sakai」について重点的にご紹介いただきます。

広島大学情報メディア教育研究センター隅谷孝洋氏、広島大学大学院社会科学研究科安武公一氏からは、広島大学におけるWebCT を用いたe ラーニングの取り組みについてご紹介をいただきます。広島大学は早くからWebCT を導入した大学として著名であり、特に実際の授業におけるWebCT の利用方法について、様々な視点からご紹介をいただいています。

九州大学情報基盤研究開発センター井上仁氏からは、九州大学におけるWebCTの活用状況に関してご紹介をいただきます。九州大学も広島大学と同様WebCTを早期に導入し利活用されておられ、特に医療系学部における取り組みについて具体的に詳しいご紹介をいただきます。

株式会社CSK システムズ浦真吾氏からは、国内におけるWebCT のサポートベンダーとしての立場から、WebCT の海外・日本における現状、普及状況，海外での利活用事例や今後の展望についてのご紹介をいただきます。

本特集がe ラーニングシステムを用いたよりよい授業を実現するために、皆様のご参考になれば幸いです。最後に、ご多忙中にもかかわらずご寄稿を快諾いただいた執筆者の皆様方に感謝いたします。

・WebCT の全学展開について ---------- 竹村 治雄
・コース管理システムのオープン化と大学の情報戦略 ---------- 梶田 将司
・広島大学における e-Learning の運用と展開　－WebCT の活用とアクティブ・ラーニングへの志向－
---------- 隅谷 孝洋・安武 公一
・九州大学における WebCT の活用状況 ---------- 井上　仁
・Blackboard(WebCT)の海外・日本での利用状況と今後 ---------- 浦 真吾